

Eiちゃん



## 検査情報月報 1月号 ◀ 概要版 ▶



▶ 横浜市衛生研究所では、所内で実施した試験検査などの結果に解説を加えて、『検査情報月報』を発行しています。

### 横浜市内の蚊成虫生息状況調査結果（令和2年5月～10月）

デング熱、ジカウイルス感染症などの蚊媒介感染症は、それぞれ媒介する蚊の種類が異なります。平常時から地域特有の蚊成虫の生息状況を把握し、病原体侵入を監視することは、感染症対策として必要です。

**主な結果** ▶ ライトトラップ法による捕獲数は、4属7種2,821個体で、**最多がヒトスジシマカ**1,891個体（67.0%）、次いでアカイエカ群でした。また、人囀（おとり）法では、ヒトスジシマカが781個体捕獲されました。▶ 雌成虫について実施した蚊媒介感染症の原因ウイルスの遺伝子検査は、**全て不検出**でした。

### 食品中の動物用医薬品検査結果（令和2年11月）

動物用医薬品は畜水産物の疾病の治療、予防及び発育促進の目的で使用されています。食品中に残留する動物用医薬品が人の健康に害を及ぼすことのないよう、厚生労働省は動物用医薬品について残留基準を設定しています。

**主な結果** ▶ 魚介類等7検体（サーモン1検体、エビ2検体、ヒラメ3検体、銀鮭加工品1検体）について検査を行いました。▶ ヒラメ2検体からオキシテトラサイクリンを0.05ppm及び0.03ppm検出しましたが、**いずれも残留基準値（0.2ppm）は超えていません**でした。

### 食品アレルギー検査結果（令和2年9月～10月）

加工食品では、特定原材料の表示の記載漏れや製造・調理施設での混入等により、食物アレルギーのある人がその加工食品を知らずに食べることで、アレルギー症状（じん麻疹、下痢、呼吸困難等）が起こり、中には死に至るケースもあります。

**主な結果** ▶ 原材料に卵を使用していないとされる食品22検体、乳を使用していないとされる食品26検体及び小麦を使用していないとされる食品10検体について、それぞれ卵、乳及び小麦のスクリーニング検査を行いました。▶ **全て陰性**でした。

### 横浜市衛生研究所WEBページ情報（令和2年12月）

当WEBページでは、感染症、保健、食品衛生、生活環境衛生、薬事などの情報を提供しています。

**主な結果** ▶ アクセス件数上位 **2位に「旋毛虫感染症(トリヒナ症)について」が入りました**。ジビエブームの影響が考えられます。▶ 総件数は 407,821 件でした。



横浜市 検査情報

検索